

神賑ひ一般

折口信夫

青空文庫

静かな秋冬が来る。わが国も、幸福な月日が廻つて来て、神の心も明るくなつて来て居られることゝ思ふ。秋からさきは神事が多く、従つて神の心を賑はし申す行事が、社々で行はれる。耳を澄すと、どこかの野山、かしの町中などに、必日毎に神祭りの楽器の音がしてゐる。秋ばかりに限つた事ではないが、此時期にかう言ふ神事の多く行はれるのは、理由のあることである。祭りがあつたと、芸能めいた所謂神賑ひの行はれるのが普通である。今日の人は、之を余興のやうに思つてゐるが、其は違ふ。祭り自体にとつて、極めて重要な部分だつたのである。

其等の中、特殊なものでない限りは、神樂カグラといふ名で、いろ／＼違つた芸能をひつくるめてゐる。まづ総括出来る名目を立てれば、「神遊」カミアソビと言ふ古い語であらう。神樂はその中の特殊なものを言ふ語で、元はあつたのである。

神遊びは、神の行はれる遊びを言ふ義で、「あそび」と言ふことに意義の中心はある訣である。昔は鎮魂と言つて、人の身に魂を鎮める行事があり、それを行ふ時期があつた。其を行ふ方法も色々あつて、地方々々、家々で、実に多くの鎮魂法が行はれてゐた。併し、其等には皆共通した所があつた。歌をうたひ、楽器を鳴らし、舞踊を行ふことが其である。

さうすることによつて、よい魂が人の身に鎮るものと信じてゐたのである。後世は、神事を離れた、遊びと言ふ語が広く行はれることになつたのである。

そんな訣で、冬には何となく、心の温まるやうな神事が行はれるのであつた。鎮魂行事のあつたのは冬の事であつたが、收穫祭が秋、其に続く鎮魂祭が冬と言ふ風に、祭りを中心に時の名を称へたので、秋と言つても、冬の中にもなり、又暦の考へが變つて、秋に行ふ祭りだから、暦の上の秋季にすると言ふやうなことにもなつて、秋冬にわたつて、祭の種類が次第に分化して行つた。さう言ふ神遊びの中に、神樂と言ふ流行を捲き起すものが現れた。平安中期の事である。それ以前から必、神遊びが神事芸能としての享樂方面を拓いて居たには違ひないが、一躍して芸能の喜びを覚えさせるやうになつたのは、神樂が榮え、サイバラ催馬樂を分出させた頃からであらう。併しこの頃になると、もう、宮廷だけに神事芸能が発見せられたと言ふやうな事ではなく、諸国の社や聖地にも、神事から芸能の歎心が、目ざめて居たのである。アツマアソビ東遊、フック風俗などは、東国から出た痕を明らかに示してゐる。併し詳しく言へば、神事芸能の起原は、此一つに止らない。

相撲などは、神事として、因縁の古い占ひであつた。秋に這入つてまづする農事の占ひは、このすぼうつによる外はなかつた。其が、宮廷にも、諸国の社にも催され、遂に芸能の神

事として、人の心に大きな喜びを唆るまでになつたのである。神事から出て芸能化したいろ／＼の神賑ひを思ふと、信仰の根深さ、又形を変へて永続する強い意力を感じる。打毬・馬術・賭^{ノリユミ}弓の各種目も同様、神事占ひから出発した痕が認められるのである。

かうして日本の神々が、芸能を深く愛好せられると言ふ印象を、昔の人は持つやうになつた。荘嚴な雅楽——又、舞楽——が、神事芸能に入れられたのも、かうした古人の理會から来た。田楽・猿楽の如く、中世から近世へ栄えた芸能も亦、最神事に縁の深いものであつた。武術などはまさか、と思ふ人もあらうが、此亦相撲同様、勝負を以て判ずる占ひの基準として、祭時に行はれたものが多かつたのである。

かう言ふ風に祭時に當つて、神社は芸能綜合の機能を發揮するのであつた。花などは、寺方からのみ起つたものと思はれてゐるが、之が純日本的起原を溯れば、やはり神事に歸する所もあり、最縁遠かりさうな茶の湯・香道などが、やはり神事に關聯してゐた。春日若宮祭りの夜の神幸には、盛んに香を炷くし、近江の日吉の大祭には、神輿に茶を献ずる式を行つてゐる。

我々は、神が様々の芸能文化を分出し、又新しい芸能をとり容れて來られた迹を眺めて、今後の祭りの益賑々しく、榮えゆくことを思ひ、心自ら豊かなるを禁めえないのである。

青空文庫情報

底本：「折口信夫全集 21」中央公論社

1996（平成8）年11月10日初版発行

底本の親本：「折口信夫全集 第十七卷」中央公論社

1967（昭和42）年3月25日発行

初出：「明治神宮祭の葉」

1949（昭和24）年11月発行

※底本の題名の下に書かれている「昭和二十四年十一月「明治神宮祭の葉」」はファイル末の「初出」欄に移しました。

入力：門田裕志

校正：フクポー

2019年8月30日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<https://www.aozora.gr.jp/>）で作ら

れました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

神賑ひ一般

折口信夫

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>